

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年7月1日

事業者名: 株式会社 Edo

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・フルフレックスかつ勤務場所自由のため夏場の冷房および冬場の暖房のオフィスでの使用削減を行なっている。 ・オフィスや活動拠点の制作は、地元の建築家に依頼している。 ・古い書店を改築し、古民家の活用およびリノベーションを行なっている。 	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑩住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任 つかう責任	R5年度はR4年度に比べてエアコンの使用量が10%減 2023年春に元書店だった場所を改修しスクールをオープン	指標	Co2の排出量
				目標	2030年までにR5年度比20%以上の削減を達成
社会	<p>飛騨市教育委員会が取り組む飛騨市の教育魅力化プロジェクトである「飛騨市学園構想」のプロジェクトマネジメントを行い、年齢や地域を超えた学びづくりに取り組んでいる。また、子供も大人も学び続けられる地域づくりのために飛騨市教育委員会生涯学習課からの委託を受け、「飛騨市民カレッジ」(市民活動)のプロジェクト設計等を行なっている。</p> <p>また、Edo New Schoolという子供の非認知能力を育てる塾も運営している。</p>	④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も、⑩住み続けられるまちづくりを	R5年度、市民それぞれが探究的な学びやワクワクする取り組みの主体者となる機運を高めることを目的に、「飛騨市探究フェス」を開催。市内の小中学生や飛騨市の一般市民など約150名が参加した。また「飛騨市民カレッジ」ではゲストに渡辺陽一氏を迎えた特別講座を含め年間で5回講座を開催した。	指標	「飛騨市探究フェス」の規模増大、「飛騨市民カレッジ」の実施回数増加
				目標	「飛騨市探究フェス」: R12年度までに参加人数約800名 「飛騨市民カレッジ」: R12年度までに実施回数年間10回
経済	AIを活用することによりプロジェクトの工数の削減、電子の契約書を用いることにより紙の使用量を削減。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	freee等の電子システムを導入することで、紙の契約書をR5年度から30%削減させた。	指標	契約書及び見積書の電子化率
				目標	2030年までに上記の書類の電子化率を90%にすることを旨とする。
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。</p> <p><具体的な内容を記載></p> <p>上記の重点項目について社内共有を実施し、それぞれについての意識づけを行なっている。また定期的に社内会議でそれぞれの重点項目に対して現状の把握、課題感を共有している。</p>			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。</p> <p>https://educationdo.com/can/sdgs/</p>			